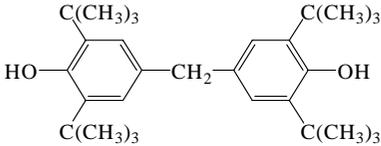
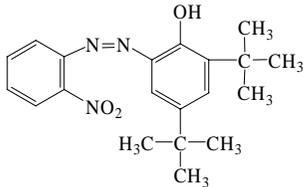
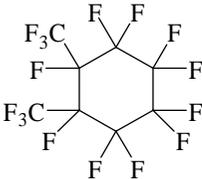


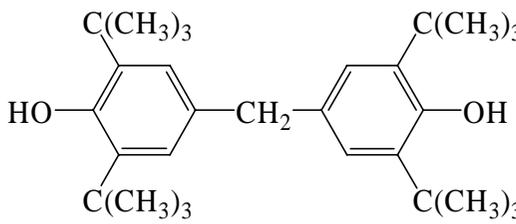
平成18年10月 既存化学物質点検（分解・蓄積）結果資料 〈第58回審査部会〉

K番号	物質名 (CAS No.) [PRTR番号] 官報公示整理番号	分解度 (%)	分配係数 (log Pow)	濃縮倍率	判定結果 ()内は既判定	後続の試験案 (試験の種類, 試験物質)	頁
351	4,4'-メチレンビス(2,6-ジ-tert-ブチルフェノール) (118-82-1) 4-39 	BOD : -1, 0, 0 (0) HPLC: 4, 2, 2 (3)	8.99 ^{*1}	1区: 4600倍 2区: 9200倍 脂質含有率 開始前 3.19% 終了後 4.17%	難分解性 高濃縮性	なし	1
1692	3,5-ジ-tert-ブチル-2-ヒドロキシ-2'-ニトロアゾベンゼン (52184-14-2) 3-2835 	BOD : -3, 2, -3 (0) HPLC: 0, 0, 0 (0) 判定結果 難分解性 (H16年 3月 17日)	8.55 ^{*1}	1区: 5000倍 2区: 4300倍 脂質含有率 開始前 3.17% 終了後 4.59%	(難分解性) 高濃縮性	なし	5
1739	ペルフルオロ-1,2-ジメチルシクロヘキサン (306-98-9) 3-3247 	BOD : 1, -9, -5 (0) ^{*2} GC : -6, -3, -4 (0) ^{*2} 判定結果 難分解性 (H18年 7月 21日)	4.75 ^{*1} >3.80 ^{*3}	ピーク1 1区: 1400倍 2区: 1600倍 ピーク2 1区: 6900倍 2区: 7700倍 ピーク3 1区: 6000倍 2区: 5800倍 ピーク4 1区: 5400倍 2区: 5700倍 脂質含有率 開始前 3.20% 終了後 4.59%	(難分解性) 高濃縮性	なし	8

*1 Kowwin v1.67 SRC-LOGKOW for Microsoft Windowsによる計算値

*2 分解度の平均値が負の値に算出されたため、0と表記した。

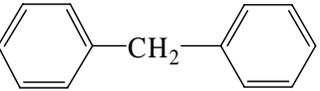
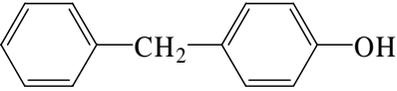
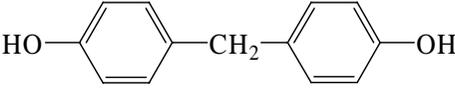
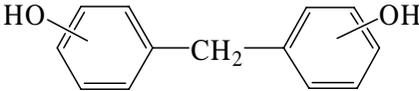
*3 フラスコ振とう法による予備値

整理番号 K-351 (4-0039)		分解度試験		分解度試験		分解度試験	
4, 4'-メチレンビス(2, 6-ジ-tert-ブチルフェノール)		事業対象年度 平成16年度		契約 年 月 日		契約 年 月 日	
(118-82-1)		試験期間 17. 4. 27~17. 7. 4		試験期間 . . . ~ . . .		試験期間 . . . ~ . . .	
		試験装置 (標) ・ 揮		試験装置 標 ・ 揮		試験装置 標 ・ 揮	
構造式 (示性式) ・ 物理化学的性状  分子式 C ₂₉ H ₄₄ O ₂ 分子量 424.66		試験濃度		試験濃度		試験濃度	
		被験物質 100 mg/L		被験物質 mg/L		被験物質 mg/L	
		汚泥 30 mg/L		汚泥 mg/L		汚泥 mg/L	
		本試験期間 4 週間		本試験期間 週間		本試験期間 週間	
		試験結果		試験結果		試験結果	
間接		BOD -1, 0, 0 (0)%		間接			
直接		HPLC 4, 2, 2 (3)%		直接			
純度*1 99.6%	外観 淡黄色粉末	審査部会 第58回 18年10月27日開催		審査部会 第 回 年 月 日開催		審査部会 第 回 年 月 日開催	
不純物 (物質名, 含有率) 残り 0.4%は不明	溶解度 (対水, その他) 対水 0.0123 µg/L(25°C) (カラム溶出法) 対酢酸エチル 10 g/L 以上 対メタノール 10 g/L 以上	判定		判定		判定	
融点*1 155.6°C	1-オクタノール/水分配係数 Log Kow = 8.99*3	備考		備考		備考	
沸点*2 289°C (40mmHg)		1. 回収率 (水+被験物質)系 96.7% (汚泥+被験物質)系 99.2%					
比重*2 d ₄ ²⁰ 0.99	安定性	2. 実施機関 ・財団法人 化学物質評価研究機構					
LD50		3. 特記事項 ・分解度の平均値が負の値に算出されたため、0と表記した。					
IRチャートの有無 (有) ・ 無	用途*2 ゴム、合成樹脂及び潤滑油用酸化防止剤						
生産量 (年)	試料 購入先 東京化成工業						
経済産業公報発表年月日	年 月 日						

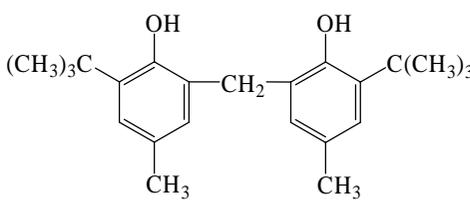
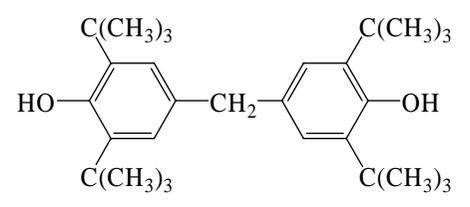
*1 東京化成工業添付資料による。 *2 有機化合物辞典 (講談社) による。 *3 Kowwin v 1.67 による計算値。

濃縮度試験指示					53年 3月 13日	事業対象年度					平成17年度					備考 部位別試験（濃縮倍率） 第1濃度区 外皮 1300, 4800 頭部 12000, 12000 内臓 17000, 13000 可食部 11000, 12000 第2濃度区 外皮 15000, 10000 頭部 35000, 40000 内臓 32000, 28000 可食部 38000, 33000 排泄試験（半減期） 第1濃度区 19日 第2濃度区 28日	毒性試験 年月日											
試験期間					53. 9. 4 ~ 54. 2. 28	試験期間					17. 11. 28 ~ 18. 4. 14							依 頼										
試験装置		⑧・揮		48LC50値 160 mg/L		試験装置		⑧・揮		96LC50値 >0.150mg/L		経過																
水槽設定濃度 (mg/L)					水槽設定濃度 (μg/L)																							
		被験物質		分散剤					被験物質		分散剤																	
				HCO-20							HCO-40						2-メトキシ エタノール											
第1濃度区		1		20				第1濃度区		0.1							100		100000									
第2濃度区		0.1		2				第2濃度区		0.01							10		100000									
第3濃度区								第3濃度区																				
濃縮倍率					脂質含有率 -					濃縮倍率							脂質含有率 開始前 3.19% 魚種(コイ) 終了後 4.17%											
		2 W		3 W		4 W		6 W									11日後		17日後		28日後		42日後		60日後		67日後	
第1	水槽濃度 (mg/L)		0.84		0.89		0.85		0.89		第1						水槽濃度 (μg/L)		0.0611		0.0781		0.0876		0.0923		0.0981	
	倍率		5.0		9.1		10.7		13.4			倍率		2000		2200		3600		3900		5800		4100				
		3.4		7.4		8.3		6.3				1900		2500		2900		4500		6000		5200						
第2	水槽濃度 (mg/L)		0.081		0.083		0.084		0.087		第2	水槽濃度 (μg/L)		0.00589		0.00703		0.00750		0.00885		0.00968						
	倍率		27		29		32		41, 37			倍率		4000		4700		8000		11000		13000						
		19		44		14		64.5, 27				4100		5000		7500		8600		13000								
第3	水槽濃度 ()										第3	水槽濃度 ()																
	倍率											倍率																
判定部会					第52回 54年 4月 19日 開催					審査部会					第58回 18年 10月 27日 開催													
判定結果					高濃縮性ではない					判定結果																		
備考					[回収率] 試験水 第1濃度区 93.9% 第2濃度区 102% 供試魚 84.3% [実施機関] 財団法人 化学物質評価研究機構					備考					[定常状態における濃縮倍率] 第1濃度区 4600倍 第2濃度区 9200倍 [定常状態における濃縮倍率(平均脂質含量で補正)] 第2濃度区 9000倍 [回収率] [定量下限濃度] 試験水 82.9% 試験水 第1濃度区 0.0070 μg/L 第2濃度区 0.00070 μg/L 供試魚 76.9% 供試魚 3.2 ng/g [実施機関] 財団法人 化学物質評価研究機構													

K-351の類似物質表

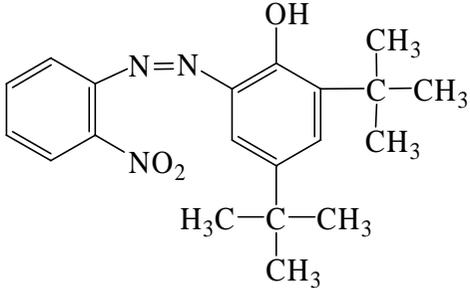
化合物名 (CAS 番号)	構造式	官報公示 整理番号 (K-No.)	分解度 (%)	分解 判定 (年)	分配係数 (log Pow)	LC ₅₀ mg/L (ヒメダカ)	濃縮倍率	濃縮 判定 (年)
ジフェニルメタン (101-81-5)		4-0085 (K-520)	標準(2W) 1980年実施 BOD 0, 1, 1 (1) G C 2, 1, 0 (1)	難分解性 (1980)	1981年実施 4.49 (フラスコ振とう法)	2.76 (48hr)	1981年実施 1区(100µg/L): 452~1150 2区(10µg/L): 536~1190 脂質含有率 4.6%	中濃縮性 (1981)
4-ヒドロキシジフェ ニルメタン (101-53-1)		3-0547 (K-581)	標準(4W) 1980年実施 BOD 0, 0, 0 (0) TOC 0, 5, 7 (4) U V(277nm) 1, 2, 1 (2)	難分解性 (1980)	1982年実施 3.47 (フラスコ振とう法)	3.05 (48hr)	1982年実施 1区(30µg/L): 16~38 2区(3µg/L): 10~32 脂質含有率 4.9%	高濃縮性 ではない (1982)
4,4'-ジヒドロキシ ジフェニルメタン (620-92-8)		4-0090 (K-1506)	標準(4W) 1999年実施 BOD 1, 2, 0 (1) TOC 3, 2, 2 (2) HPLC 1, 0, 0 (0)	難分解性 (2000)	/	18.1 (96hr)	2001年実施 定常状態における濃縮倍率 1区(25 µg/L): 6.6 2区(2.5µg/L): 11 脂質含有率 開始前 2.82% 終了後 2.51%	高濃縮性 ではない (2001)
ジヒドロキシジフェ ニルメタン (1333-16-0)		(K-1506A)	標準(4W) 2002年実施 BOD 0, 0, 0 (0) HPLC 1, 1, 0 (1)	難分解性 (2002)	2002年実施 2.0~2.7 (HPLC法)	/	類似物質から類推	高濃縮性 ではない (2002)

K-351の類似物質表

化合物名 (CAS番号)	構造式	官報公示 整理番号 (K-No.)	分解度 (%)	分解 判定 (年)	分配係数 (log Pow)	LC50 mg/L (ヒメダカ)	濃縮倍率	濃縮 判定 (年)
2, 2'-メチレンビス (6-tert-ブチル-4-メチルフェ ノール) (119-47-1)		4-0100 (K-825)	標準(4W) 1985年実施 BOD 0, 0, 0 (0) HPLC 2, 1, 0 (1)	難分解性 (1985)	1985年実施 6.25 (フラスコ振とう法)	>500 (48hr)	1985年実施 1区(1 mg/L) : 23~ 37 2区(0.1mg/L) : 60~125 脂質含有率 4.7%	高濃縮性 ではない (1985)
						>1.00 (96hr)	2003年実施 定常状態における濃縮倍率 1区(2 µg/L) : 710 2区(0.2µg/L) : 490 脂質含有率 開始前 3.45% 終了後 4.93%	高濃縮性 ではない (2003)
4, 4'-メチレンビス (2,6-ジ-tert- ブチルフェノール) (118-82-1)		4-0039 (K-351)	標準(4W) 2005年実施 BOD -1, 0, 0 (0)*1 HPLC 4, 2, 2 (3)		8.99*2	160 (48hr)	1979年実施 1区(1 mg/L) : 3.4~13.4 2区(0.1mg/L) : 14 ~64.5 脂質含有率 4.7%	高濃縮性 ではない (1979)
						>0.150 (96hr)	2006年実施 定常状態における濃縮倍率 1区(0.1 µg/L) : 4600 2区(0.01µg/L) : 9200 定常状態における濃縮倍率 (平均脂質含量で補正) 2区(0.01µg/L) : 9000 脂質含有率 開始前 3.19% 終了後 4.17%	

*1 分解度の平均値が負の値に算出されたため、0と表記した。

*2 Kowwin v 1.67 による計算値。

整理番号 K-1692 (NEDO 261, 3-2835)	分解度試験	分解度試験	分解度試験	
3,5-ジ-tert-ブチル-2-ヒドロキシ-2'-ニトロアゾベンゼン	事業対象年度 平成15年度	契約 年 月 日	契約 年 月 日	
(52184-14-2)	試験期間 15. 9.29~15.12.15	試験期間 . . ~ . .	試験期間 . . ~ . .	
	試験装置 (標) ・ 揮	試験装置 標 ・ 揮	試験装置 標 ・ 揮	
構造式 (示性式) ・ 物理化学的性状  分子式 C ₂₀ H ₂₅ N ₃ O ₃ 分子量 355.43	試験濃度	試験濃度	試験濃度	
	被験物質 100 mg/L	被験物質 mg/L	被験物質 mg/L	
	汚泥 30 mg/L	汚泥 mg/L	汚泥 mg/L	
	本試験期間 4 週間	本試験期間 週間	本試験期間 週間	
	試験結果 間接 BOD -3, 2, -3 (0)% 直接 HPLC 0, 0, 0 (0)%	試験結果 間接 直接	試験結果 間接 直接	
	純度*1 99.8% 外観 赤紫色結晶性粉末			
不純物*1 (物質名, 含有率) 不明成分 0.2%	溶解度 (対水, その他) 対水 0.158μg/L(25℃) (カラム溶出法) 対アセトニトリル 10 g/L 以上 対酢酸エチル 100 g/L 以上 対ヘキサン 5.0 g/L 以上 対2-メトキシエタノール 10 g/L 以上	審査部会 第32回 16年 3月17日開催	審査部会 第 回 年 月 日開催	
融点*1 152℃	判定 難分解性	判定	判定	
沸点 300℃以上	備考 1. 回収率 (水+被験物質)系 101% (汚泥+被験物質)系 99.8% 2. 実施機関 ・財団法人 化学物質評価研究機構 3. 特記事項 ・分解度の平均値が負の値に算出されたため、0と表記した。	備考	備考	
密度 測定不可				
LD50				
IRチャートの有無 (有) ・ 無				
用途				
生産量 (年)				
試料				
経済産業公報発表年月日	16年 11月 15日			

*1 提供先添付資料による。

*2 Kowwin v 1.67 による計算値。

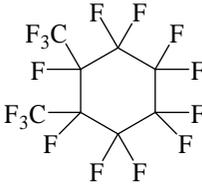
濃縮度試験					事業対象年度					平成17年度					濃縮度試験					濃縮度試験					部位別試験 (濃縮倍率)					毒性試験																																		
試験期間					18. 1. 16 ~ 18. 6. 23					試験期間					. . . ~ . . .					第1濃度区					年月日																																							
試験装置 (標)・揮					LC50値 >1.50 mg/L(96hr)魚種(ヒメダカ)					試験装置 標・揮					LC50値 mg/L(hr)魚種()					第1濃度区					依 頼 経過																																							
水槽設定濃度 (μg/L)										水槽設定濃度 ()										第2濃度区																																												
被験物質					分散剤					被験物質					分散剤					第1濃度区																																												
					HCO-40										2-メトキシ エタノール										第2濃度区																																							
第1濃度区					0.1					1					19000					第1濃度区					第1濃度区					第1濃度区																																		
第2濃度区					0.01					0.1					19000					第2濃度区					第2濃度区					第2濃度区																																		
第3濃度区																				第3濃度区					第3濃度区					第3濃度区																																		
濃縮倍率					脂質含有率					開始前 3.17%					開始前 %					濃縮倍率					脂質含有率					開始前 %					濃縮倍率					脂質含有率					開始前 %																			
					終了後 4.59%					魚種(コイ)					終了後 %					魚種()																																												
					11日後					25日後					39日後					52日後					60日後										日後					日後					日後					日後					日後									
第1					水槽濃度 (μg/L)					0.0988					0.0969					0.0859					0.0900					0.0853					第1					水槽濃度 ()																								
					倍率					2600					3200					3600					4500					5100										倍率																								
					2100					3200					5200					5200					5000																																							
第2					水槽濃度 (μg/L)					0.00916					0.00908					0.00930					0.00939					0.00863					第2					水槽濃度 ()																								
					倍率					2900					3800					4400					4300					4500										倍率																								
					3400					3700					3600					4200					4400																																							
第3					水槽濃度 ()																									第3					水槽濃度 ()																													
					倍率																														倍率																													
審査部会 第58回 18年 10月 27日 開催																									審査部会 第 回 年 月 日 開催																																							
判定結果																									判定結果																																							
備考																									備考																																							
[定常状態における濃縮倍率] 第1濃度区 5000倍 第2濃度区 4300倍																																																																
[回収率] [定量下限濃度]																																																																
試験水 89.3% 試験水 第1濃度区 0.0047 μg/L 第2濃度区 0.00047μg/L																																																																
供試魚 85.8% 供試魚 2.4 ng/g																																																																
[実施機関] 財団法人 化学物質評価研究機構																																																																

K-1692の類似物質表

化合物名 (CAS番号)	構造式	官報公示 整理番号 (K-番号)	分解度 (%)	分解 判定 (年)	分配係数 (log Pow)	LC50 mg/L (ヒメダカ)	濃縮倍率	濃縮 判定 (年)
3,5-ジ- <i>tert</i> -ブチル -2-ヒドロキシ-2'-ニ トロアゾベンゼン (52184-14-2)		3-2835 (K-1692)	標準(4W)2003年実施 BOD -3, 2, -3 (0)*1 HPLC 0, 0, 0 (0)	難分解性 (2004)	8.55*2	>1.50 (96hr)	2006年実施 定常状態における濃縮倍率 1区(0.1 µg/L) : 5000 2区(0.01µg/L) : 4300 脂質含有率 開始前 3.17% 終了後 4.59%	
2-(2'-ヒドロキシ-3', 5'-ジ- <i>tert</i> -ブチル フェニル)ベンゾトリ アゾール (3846-71-7)		5-3604 5-3580 (K-1352)	標準(4W)1996年実施 BOD 1, 0, 0 (0) HPLC 0, 0, 1 (0)	難分解性 (1997)	1998年実施 >5.50 (フラスコ振とう法)	>500 (48hr)	1998年実施 1区(10 µg/L) : 365~ 2250 2区(1 µg/L) : 1380~ 8180 3区(0.1µg/L) : 2960~10000 脂質含有率 1, 2区 3.7% 3区 3.6%	高濃縮性 (1998)
2,4-ジ- <i>tert</i> -ブチル フェノール (96-76-4)		3-0526 (K-794)	標準(4W)1986年実施 BOD 0, 0, 0 (0) G C 0, 1, 0 (0)	難分解性 (1986)	2006年実施 5.19 (フラスコ振とう法)	2.67 (48hr)	1987年実施 1区(20 µg/L) : 128~436 2区(2 µg/L) : 135~360 脂質含有率 4.7%	高濃縮性 ではない (1987)
ピグメントレッド-3 (2425-85-6)		5-3209 (K-1350)	標準(4W)1997年実施 BOD 0, 0, 0 (0) HPLC 1, 0, 1 (1)	難分解性 (1997)		>400 (48hr)	1998年実施 1区(1mg/L) : 0.3~2.7 2区(0.1mg/L) : 2.9 脂質含有率 4.2%	高濃縮性 ではない (1998)

*1 分解度の平均値が負の値に算出されたため、0と表記した。

*2 Kowwin v 1.67による計算値。

NEDO番号 313 (K-1739, 3-3247)	分解度試験	分解度試験	分解度試験
ペルフルオロ-1, 2-ジメチルシクロヘキサン (306-98-9)	事業対象年度 平成17年度	契約 年 月 日	契約 年 月 日
	試験期間 18. 1.16~18. 3.16	試験期間 . . . ~ . . .	試験期間 . . . ~ . . .
	試験装置 標・ 揮	試験装置 標・揮	試験装置 標・揮
構造式(示性式)・物理化学的性状  分子式 C ₈ F ₁₆ 分子量 400.06	試験濃度	試験濃度	試験濃度
	被験物質 100 mg/L	被験物質 mg/L	被験物質 mg/L
	汚泥 30 mg/L	汚泥 mg/L	汚泥 mg/L
	本試験期間 4 週間	本試験期間 週間	本試験期間 週間
	試験結果 間接 BOD 1, -9, -5 (0)% 直接 GC -6, -3, -4 (0)%	試験結果 間接 直接	試験結果 間接 直接
純度 ①99.9%*1②98.9%*2 外観 無色透明液体			
不純物(物質名, 含有率) ②残り 1.1%は不明	溶解度(対水, その他) 対水(カラム溶出法)*5 ピーク1 2.96μg/L(25℃) ピーク2 2.52μg/L(25℃) ピーク3 2.41μg/L(25℃) ピーク4 2.64μg/L(25℃) 対1-オクタノール 4 g/L以上(25℃) 対クロロホルム 10 g/L以上	審査部会 第56回 18年 7月21日開催	審査部会 第 回 年 月 日開催
融点*3 -56℃		判定 難分解性	判定
沸点*3 101.5℃(大気圧)		備考	備考
密度*4 1.865 g/cm ³ (20℃)	1-オクタノール/水分分配係数 log Pow >3.80 (フラスコ振とう法による予備値)	1. 回収率 (水+被験物質)系 92.0% (汚泥+被験物質)系 90.6%	
LD50		2. 実施機関 ・財団法人 化学物質評価研究機構	
IRチャートの有無 有 ・無	解離定数 解離基なし	3. 特記事項 ・水系保持率 92% ・分解度の平均値が負の値に算出されたため、0と表記した。	
用途			
生産量(年)			
試料 購入先 ①Lancaster synthesis Ltd. ②SynQuest Laboratories, Incorporated			
経済産業省公報発表年月日 年 月 日			

*1 Lancaster synthesis Ltd. 添付資料による。 *2 SynQuest Laboratories, Incorporated 添付資料による。 *3 The Physical Properties Database (Jan. 2000) (Syracuse Research Corporation)による。 *4 JIS K 0061-1992 化学製品の密度及び比重測定方法「振動式密度計法」に従って行った。 *5 成分組成は不明なため、ピーク毎に100%の濃度として示した。 ①分配係数試験及び物理化学性状試験 ②分解度試験及び濃縮度試験

濃縮度試験		事業対象年度 平成18年度																		
試験期間		18. 4. 24 ~ . . .																		
試験装置 標・(揮)		LC50値 >1.50 mg/L(96hr)魚種(ヒメダカ)																		
水槽設定濃度 (µg/L)																				
		被験物質		分散剤																
				メガファック F-443				テトラヒドロフラン												
第1濃度区		2.33		2.33				8900												
第2濃度区		0.233		0.233				8900												
脂質含有率 開始前 3.20% 終了後 4.59% 魚種(コイ)																				
濃縮倍率 ピーク1						濃縮倍率 ピーク2						濃縮倍率 ピーク3								
		10日後	24日後	38日後	50日後	60日後			10日後	24日後	38日後	50日後	60日後			10日後	24日後	38日後	50日後	60日後
第1	水槽濃度 (µg/L)	2.29	2.21	2.29	2.23	2.29	第1	水槽濃度 (µg/L)	2.21	2.31	2.23	2.21	2.30	第1	水槽濃度 (µg/L)	2.29	2.19	2.30	2.29	2.30
	倍率	480	2300	1600	1500	1400		倍率	1900	5100	8100	7000	6200		倍率	1600	4800	6700	6400	5600
		610	2400	1300	1400	1300			2100	5300	6700	7000	6200			1800	5000	5800	6400	5600
第2	水槽濃度 (µg/L)	0.215	0.224	0.229	0.229	0.232	第2	水槽濃度 (µg/L)	0.225	0.229	0.232	0.226	0.219	第2	水槽濃度 (µg/L)	0.231	0.228	0.231	0.230	0.233
	倍率	650	3100	1900	1700	1400		倍率	1600	3100	8500	7600	7500		倍率	1600	3800	5700	5900	6300
		700	2700	1900	1700	1300			1600	2800	8400	7700	6300			1600	3300	5700	6000	5200
審査部会 第58回 18年 10月 27日 開催																				
判定結果																				
備考 [定常状態における濃縮倍率] 第1濃度区 1400倍 第2濃度区 1600倍 [回収率] 試験水 [定量下限濃度] 試験水 第1濃度区 0.0077µg/L 第2濃度区 0.0062µg/L 供試魚 第1濃度区 93.6% 供試魚 第1濃度区 45 ng/g 第2濃度区 96.0% 第2濃度区 4.7ng/g 部位別試験用 供試魚 第1濃度区 96.0% 第2濃度区 99.1%						備考 [定常状態における濃縮倍率] 第1濃度区 6900倍 第2濃度区 7700倍 [回収率] 試験水 [定量下限濃度] 試験水 第1濃度区 0.0016µg/L 第2濃度区 0.0013µg/L 供試魚 第1濃度区 96.5% 供試魚 第1濃度区 12 ng/g 第2濃度区 90.9% 第2濃度区 1.2ng/g 部位別試験用 供試魚 第1濃度区 90.9% 第2濃度区 96.0%						備考 [定常状態における濃縮倍率] 第1濃度区 6000倍 第2濃度区 5800倍 [回収率] 試験水 [定量下限濃度] 試験水 第1濃度区 0.00048µg/L 第2濃度区 0.00040µg/L 供試魚 第1濃度区 96.4% 供試魚 第1濃度区 7.2 ng/g 第2濃度区 94.2% 第2濃度区 0.67ng/g 部位別試験用 供試魚 第1濃度区 94.2% 第2濃度区 94.8%								
[実施機関] 財団法人 化学物質評価研究機構																				

濃縮度試験				事業対象年度				平成18年度				濃縮度試験				濃縮度試験				部位別試験 (濃縮倍率)				毒性試験																																															
試験期間				18. 4. 24 ~ . . .				試験期間				. . . ~ . . .				試験装置 標・揮				LC50値 mg/L(hr)魚種()				ピーク1				年月日																																											
試験装置 標・揮				LC50値 >1.50 mg/L(96hr) (ヒメダカ)				試験装置 標・揮				LC50値 mg/L(hr)魚種()				第1濃度区				第2濃度区				依 頼																																															
水槽設定濃度 (μg/L)								水槽設定濃度 ()																																																															
		被験物質		分散剤						被験物質		分散剤				ピーク2				経過																																																			
				メガファック F-443		テトラヒドロフラン												第1濃度区				第2濃度区																																																	
第1濃度区		2.33		2.33		8900				第1濃度区								外皮 540, 390 外皮 ≤160*6, ≤160*6																																																					
第2濃度区		0.233		0.233		8900				第2濃度区								頭部 1000, 1700 頭部 2100, 1900																																																					
脂質含有率				開始前 3.20% 終了後 4.59% 魚種(コイ)				脂質含有率				開始前 % 終了後 % 魚種()				内臓 2100, 2600 内臓 6600, 6600																																																							
濃縮倍率				ピーク4				濃縮倍率								可食部 580, 670 可食部 970, 1100																																																							
第1		水槽濃度 (μg/L)		10日後		24日後		38日後		50日後		60日後		第1		水槽濃度 ()		日後		日後		日後		日後		日後		第1濃度区		第2濃度区																																									
		倍率		1600		4600		6100		5700		5100				倍率														外皮 2500, 1900 外皮 2600, 2400																																									
第2		水槽濃度 (μg/L)		0.227		0.233		0.230		0.230		0.231		第2		水槽濃度 ()		日後		日後		日後		日後		日後		第1濃度区		第2濃度区																																									
		倍率		1600		3800		5900		5500		5900				倍率														外皮 2600, 2000 外皮 2300, 2300																																									
審査部会				第58回				18年				10月				27日				開催				審査部会				第回				年月日				開催																																			
判定結果								判定結果																																																															
備考				[定常状態における濃縮倍率] 第1濃度区 5400倍 第2濃度区 5700倍				[回収率] [定量下限濃度]				試験水				試験水				第1濃度区 0.00056μg/L				第2濃度区 0.00046μg/L				供試魚				第1濃度区 92.5%				第2濃度区 86.2%				供試魚				第1濃度区 6.2 ng/g				第2濃度区 0.58ng/g																							
部位別試験用				供試魚				第1濃度区 96.2%				第2濃度区 91.7%				部位別試験用				供試魚				第1濃度区 96.2%				第2濃度区 91.7%				排泄試験 (半減期)				第1濃度区				第2濃度区																															
[実施機関]				財団法人 化学物質評価研究機構																																				ピーク1 ≤5.3日*7				ピーク1 ≤4.3日*7				ピーク2 6.1日				ピーク2 4.8日				ピーク3 6.0日				ピーク3 4.4日				ピーク4 5.3日				ピーク4 4.3日			

*6 外皮重量が1.71gのときの算出可能な濃縮倍率。*7 2回目以降の分析では不検出であったため、半減期の最も短いピーク4の値以下とした。